

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公表番号】特表2008-516593(P2008-516593A)

【公表日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【年通号数】公開・登録公報2008-020

【出願番号】特願2007-536196(P2007-536196)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/10	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 P	35/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/06	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
C 1 2 Q	1/37	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	19/10	
A 6 1 P	1/02	
A 6 1 P	35/04	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/06	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	9/04	
A 6 1 P	25/00	
C 1 2 Q	1/37	
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z

**【手続補正書】**

【提出日】平成20年10月14日(2008.10.14)

**【手続補正1】**

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

**【補正の内容】**

【特許請求の範囲】

**【請求項1】**

細胞外マトリクス(ECM)分解を阻害する化合物を同定する方法であって、化合物を、配列番号：17～32からなる群から選択されたアミノ酸配列を含むポリペプチド及びそれらのフラグメントと接触させること；及び、細胞外マトリクス(ECM)分解に関連する化合物-ポリペプチド特性を測定すること、を含む、前記方法。

**【請求項2】**

前記ポリペプチドが、インビトロ無細胞調製物中にある、請求項1記載の方法。

**【請求項3】**

前記ポリペプチドが、哺乳動物細胞に存在する、請求項1記載の方法。

**【請求項4】**

前記特性が、前記ポリペプチドへの前記化合物の結合親和性である、請求項1記載の方法。

**【請求項5】**

前記特性が、細胞外マトリクス(ECM)分解の指標となる生化学的マーカーを産生する生物学的経路の不活性化である、請求項3記載の方法。

**【請求項6】**

前記指標が MMP-1 である、請求項5記載の方法。

**【請求項7】**

前記ポリペプチドが、配列番号：17～32からなる群から選択されるアミノ酸配列を含む、請求項6記載の方法。

**【請求項8】**

前記化合物が、市販のスクリーニングライブラリーの化合物、及び配列番号：17～127からなる群から選択されるアミノ酸配列を含むポリペプチドへの結合親和性を有する化合物、からなる群から選択される、請求項1記載の方法。

**【請求項9】**

前記化合物が、ファージディスプレイライブラリー又は抗体フラグメントライブラリー中のペプチドである、請求項2記載の方法。

**【請求項10】**

アンチセンスポリヌクレオチド、リボザイム及び低分子干渉RNA(siRNA)からなる群から選択される、細胞外マトリクス(ECM)分解、又は炎症の阻害に効果的な作用物質であって、前記作用物質が、配列番号：1～16からなる群から選択される核酸配列中の連續した約17個～約30個のヌクレオチドからなる天然型ポリヌクレオチド配列に相補的な核酸配列、又は該天然型ポリヌクレオチド配列から人為的に加工された核酸配列を含む、前記作用物質。

**【請求項11】**

請求項10記載の作用物質を発現する哺乳動物細胞内のベクター。

**【請求項12】**

リバースMMP-1アッセイでMMP-1の発現を減少させるのに効果的である、請求項10記載の作用物質。

**【請求項13】**

前記ベクターが、アデノウイルスベクター、レトロウイルスベクター、アデノ随伴ウイルスベクター、レンチウイルスベクター、単純ヘルペスウイルスベクター又はセンダイウ

イルスペクターである、請求項 1 1 記載の作用物質。

【請求項 1 4】

前記アンチセンスポリヌクレオチド及び前記 s i R N A が、センス鎖に相補的な 1 7 個～2 5 個のヌクレオチドのアンチセンス鎖を含み、前記センス鎖が、配列番号：1～1 6 からなる群から選択される核酸配列中の連續した 1 7 個～2 5 個のヌクレオチドから選択される、請求項 1 0 記載の作用物質。

【請求項 1 5】

前記 s i R N A が、前記センス鎖をさらに含む、請求項 1 4 記載の作用物質。

【請求項 1 6】

前記センス鎖が、配列番号：1 2 8～1 4 1 及び 2 3 1～2 4 4 からなる群から選択される、請求項 1 5 記載の作用物質。

【請求項 1 7】

前記 s i R N A が、前記センス鎖と前記アンチセンス鎖とを連結させるループ領域をさらに含む、請求項 1 6 記載の作用物質。

【請求項 1 8】

前記ループ領域が、配列番号：8 7 1～8 7 2 からなる群から選択される核酸配列を含む、請求項 1 7 記載の作用物質。

【請求項 1 9】

前記作用物質が、配列番号：1 2 8～1 4 1 及び 2 3 1～2 4 4 からなる群から選択される核酸配列に相補的な核酸配列を含む、アンチセンスポリヌクレオチド、リボザイム又は s i R N A である、請求項 1 8 記載の作用物質。

【請求項 2 0】

医薬として許容し得る担体との混合物中に、治療的有効量の請求項 1 0 記載の作用物質を含む、E C M 分解阻害医薬組成物。

【請求項 2 1】

細胞外マトリクス（E C M）分解が関与する疾患の治療及び／又は予防用薬剤の製造における、請求項 1 0～1 9 記載の作用物質の使用。

【請求項 2 2】

前記疾患が、関節変性疾患及び炎症性疾患からなる群から選択される、請求項 2 1 記載の使用。

【請求項 2 3】

前記疾患が関節リウマチである、請求項 2 1 又は 2 2 記載の使用。

【請求項 2 4】

対象において、細胞外マトリクス（E C M）分解が関与する病理的状態、又は該状態への感受性を診断する方法であって、前記対象から得られる生体サンプル中に存在する配列番号：1 7～3 2 からなる群から選択されるアミノ酸配列を含む第 1 量のポリペプチドを測定すること、及び前記第 1 量を健常者の集団内で測定されたポリペプチドの量の範囲と比較すること（ここで健常者で測定された量の範囲に比較しての前記生体サンプル中のポリペプチド量の増加は、前記病理的状態の存在の指標となる）、を含む、前記方法。